

学生役員の経験から感じたこと

国大化学会学生役員 中澤 駿忠

総会・懇親会グループの学生役員を務めさせていただいています中澤駿忠です。お世話になった恩返しとして何か力になりたく、学生役員に立候補しました。

総会・懇親会グループとして、今年度の同窓委員会での議論のメインテーマでもありました「学生支援」について、幅広く意見を募集するため学部4年生以上の研究室へ在籍している学生はもちろんのこと、学部2,3年生へ参加を呼び掛けました。今年は多くの学生が同窓委員会に出席し、在学生ならではの意見も飛び出し、活発に意見交換がされました。

また、懇親会にはさらに多くの学生が参加し、OBの方へ自分の将来の悩みを相談している姿が見受けられました。それだけでなく、学生間でも談話している姿を見て、多くの学生へ参加を促すことが



できたことを実感しました。

やはり、学生と卒業生の関わりを濃密にするには総会などの機会に直接顔を合わせるのが一番だと思います。学生と卒業生との架け橋になれるよう1年間努力してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひします。

学生役員としての抱負

国大化学会学生役員 薄井 涼二

学生のうちにいろいろな経験をしたいという思いが学生役員を担当させて頂くことになったきっかけです。学生役員になった当初は国大化学会についてはほとんど何も知りませんでした。しかし、先日の役員会や崎陽軒での同窓委員会を通じて国大化学会が行っている学生支援について理解し、さらに自分の意見を発信する貴重な経験ができました。また、OBの方々から貴重なお話を聞かせて頂きとてもうれしかったです。今後も役員会等では、横浜国立大学物質工学科化学コース学生代表として学生の声を届けていくとともに、自分の意見も発信していけたらと思っています。

企画Gとしては、自分たちの学年内でのつながりを作るために様々な企画を計画していきたいと思っています。そして友人たちにも国大化学会につ



いての理解を促し、国大化学会が学生にとってより身近なものとなるよう尽力していきます。

最後に、国大化学会の更なる発展に少しでも貢献できるよう、微力ながら自分にできることを精一杯おこない次の学生役員の方に引き継ぎたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

国大化学会への期待

国大化学会学生役員 川村 紘一

私がこの国大化学会の存在を初めて知ったのは、3年生の時に授業の一環として行われた「OBと語る会」でした。当初、私は将来に向けての確固たる大きな夢を抱えているわけでもなく、化学が好きだから大学で化学を学んでいるというごく普通の大学生活を送っていました。しかし、大学入学時から常に自分の将来の夢ややりたいことを必ず見つけ出してそれにのめり込んでいきたいと考えていました。そんな時に出会ったのが、この国大化学会でした。そこで前年度の学生役員を務めていた先輩から、国大化学会では横浜国立大学の応化卒や物工卒の先輩方と話す機会がたくさんあり、社会で働かされている多くの人との交流を作り出すことができるという話を聞き、何かしら自分の将来に対するヒントが、たとえ少しであっても得られるのではないかと思います。今年度の学生役員の一人に立候補しました。

今年度の学生役員は今までにない6人もの学生が立候補し、国大化学会も今までに増した盛り上がりを見せているのではないのでしょうか。応化や物工卒の先輩方との交流はもちろん、同級生とのつながりも意外なところで増えました。総会では多くの先輩方を始め、相澤益男先生（前東京工業大学学長）との熱意がこもった会話も繰り広げることができ、私にとって大変良い機会となりました。

しかし、残念なことに、国大化学会という組織が



物質工学科の現役学生には知れ渡っていないのが現状のようです。学生支援に重点を置いている素晴らしい組織であるこの国大化学会を現役の学生にももっと知ってもらいたいと思っています。国大化学会の認知度が学生間で今よりも広まれば、学生からも支援してほしいという声意外なところで挙げてくるかもしれません。そうなった時に、国大化学会がすぐに支援できる態勢であり、実際に支援することができて、学生は支援してもらっている実感を持ってそれを享受し、学生生活を送っていったらいいのではないかと思います。最終的には支援を受けた学生はいずれOBとなって、親から子へのように後世の学生を支援することができるような「つながり」が築かれていくことが、国大化学会のさらなる成長に結びつくのではないかと考えています。

学生役員として期待されること

国大化学会学生役員 小林 優美

今年度、学生役員（会誌・名簿G）を担当させていただくことになりました。小林優美といいます。昨年の総会にも出席させていただき、OBと学生との積極的な交流をもっと向上させたいと思い、学生役員として参加させていただくことになりました。

これまでの活動では会誌・名簿Gとして、OB訪問を担当させていただいています。学部4年生の中で参加希望者を募ったところ、約半分もの学生が意欲を示しており、学生からの需要が非常に高いことを感じました。また、先日行われた同窓会においても3年生以下でも実施してほしいという要望があが



り、学生の関心の高さがうかがえました。しかし、このような企画の存在を知らないという声もあが

り、化学会の活動をもっと out put していく努力も必要だと再認識させられました。

OBの方とのコミュニケーションは学生生活ではなかなか得ることのできない貴重な機会です。この

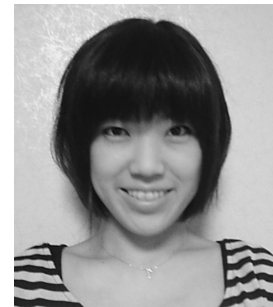
ような企画や総会を通じてOBと学生の connection を強くし、国大化学会がより一層活気あふれたものになることを期待しています。

学生役員あいさつ

国大化学会学生役員 白石奈々恵

今年度、学生役員（総会・懇親会 G）を担当させていただくことになりました。物質工学科4年の白石奈々恵です。役員でいらっしゃる關先生に声をかけていただいたことがきっかけでした。昨年度の国大化学会総会、懇親会に参加し、卒業生の方とお話しできるという貴重な体験ができたことが印象に残っており、また今までたくさんお世話になった先生方の何かお役に立てればと思い、学生役員をやらせていただこうと決めました。

一番はじめの役員会では、私は国大化学会という組織がどのような活動をしているのかよく知らないまま参加しました。しかし、OBOGの皆様が、私たち学生のために資金援助、就職支援などさまざまな面で支えてくれていたということを知り、感謝の気持ちでいっぱいになったのと同時に、この事を学生はどのくらい知っているのか、という疑問を抱きました。国大化学会がこんなにも学生のことを考えて援助してくれているのを、知らない学生はたくさんいると思います。なんだかととても悔しく思い、私



が役員の中に、一人でも多くの学生に国大化学会について知ってもらおうと考えました。

その目標の第一ステップとして、私の担当である国大化学会総会、懇親会に、多くの学生に参加してもらおうと、学部の2年生以上全員にお誘いのメールを送りました。結果、去年までよりもたくさんの学生に参加してもらうことができました。

これからも、国大化学会と学生をうまくつなぐ架け橋となれるように精一杯頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願い致します。

国大化学会総会を振り返って

国大化学会学生役員 槇野 義輝

本年度学生役員の槇野です。6月に行われた国大化学会に学生役員として出席させていただきました。総会は大いに盛り上がり、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。学生役員としての仕事はあまりできていなかったと私自身反省する点多々ありますが、役員会でのグループ討論、相沢先生の御講演、懇親会での先輩方との語らいは非常に有意義でした。これからの国大化学会には先輩方と学生のネットワークづくりと処々の学生支援に大きく期待しているところです。

さて、私も横浜国大に入学し、化学コースへ配属し、今国大の化学系の学部生として、この学び舎で



良き仲間たちと切磋琢磨できていることは偶然でもあり、必然でもあり、この稀有な出会いは人生の大きな局面でとてもありがたいことであると実感して

おります。今、この瞬間を大切に、先輩方の業績や想いを受け継ぎ、次の世代へと受け渡していくこと、これが私の使命であると考えています。

学生らしいフットワークの軽さが発揮できれば本望ですが、なかなか重い腰が上がらない時もあります。その節には、先輩方には叱咤激励を、同輩

たちには学内ですれ違うたびに良い励ましを頂戴できればうれしく思います。

本年度、私は学生と先輩方の橋渡しができるように努めてまいります。これからの国大化学会の発展を願ひまして結びの言葉とさせていただきます。